



西新潟中央病院

NST NEWS 第26号

NST : Nutrition Support Team

発行日：2016年1月5日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1303

NSTミニレクチャー第15回 ～褥瘡とコラーゲンペプチドのお話～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。

第15回は褥瘡とコラーゲンペプチドについてです。

1. 褥瘡発生後の栄養管理について

2015年の3月に褥瘡予防・管理ガイドラインの第4版が公表され、褥瘡発生後の栄養管理について以下のように記載されました。

褥瘡患者に特定の栄養素を補給することは有効か

亜鉛、アスコルビン酸、アルギニン、L-カルノシン、n-3系脂肪酸、コラーゲン加水分解物など疾患を考慮した上で補給してもよい。

推奨度 C1

文献がまだ少なく推奨度はC1(根拠は限られているが、行ってもよい)となっていますが、上記の栄養素の有効性が記載されています。

2. コラーゲンペプチドについて

コラーゲンは美容や健康の分野でよく耳にする言葉ですが、タンパク質の一種です。このコラーゲンが非常に細かく分解されたもの(コラーゲン加水分解物)が、コラーゲンペプチドということになります。コラーゲンペプチドが血中に吸収されると繊維芽細胞が増殖、活性化することが明らかになっており、ラットを対象とした試験では、コラーゲンペプチドにより褥瘡の治りが早くなったと報告されています。

3. コラーゲンペプチドを含む栄養剤

当院で採用している**ハイネーゲル**にコラーゲンペプチドが含まれています。繊維芽細胞の刺激には5g以上のコラーゲンペプチドが必要と言われていますが、ハイネーゲル1袋には5.76gのコラーゲンペプチドが含まれており、十分量のコラーゲンペプチドを補給することができます。

経管栄養で褥瘡のある患者さんには、ハイネーゲルをぜひお試しください。



(文責：栄養管理室 澤田周矢)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年は雪も少なく、過ごしやすい年末年始でした。

栄養管理室では入院患者さんに少しでも年末年始の気分を楽しんでいただくため、行事食を毎年提供しています。

今年もNSTと栄養管理室をよろしくお願ひ致します。

